

外国語

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
英語	英語コミュニケーションⅢ	4	3年次・H群	選択履修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
Power On English Communication Ⅲ （東京書籍）		コーパス1800		・四年制大学・短期大学・語学および医療看護系専門学校への進学希望者や、公務員希望者対象の講座であり、学力定着をねらいとする。 ・2年次にコミュニケーション英語Ⅱなどの英語の科目を履修しておく。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の言語活動及びこれらを結び付けた総合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え方の概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	Lesson1 Library of the Future	4	日本の最近の図書館とニューヨーク公共図書館について、現在分詞の分詞構文、関係副詞 where などの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉える。	1 2 3
		Lesson2 History Maker Otani Shohei	5	メジャーリーガーである大谷翔平選手について、現在完了進行形、be 動詞＋to 不定詞などの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、自分の好きなスポーツ選手について、多様な語句や文を用いることができる。	1 2 3
		Lesson3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals	6	動物の歯科医の仕事について、比較表現、S＋V [使役]＋O＋C [原形不定詞]などの理解を基に、必要な情報、話し手の意図を捉える。	1 2 3
		Lesson4 Nature Photographer in Alaska	7	写真家の松本紀生さんの半生や作品について、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文などの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉える。	1 2 3
	2 学 期	Lesson5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think	9	イグ・ノーベル賞を受賞した研究について、S＋V＋O＋C、過去完了進行形、受け身などの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いることができる。	1 2 3
		Lesson6 Where Does Halloween Come from?	10	日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源や歴史について、「追加」を表すディスコースマーカの理解を基に、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉える。	1 2 3
		Lesson7 Will 3D Printing Technology Change the World?	11	3D プリント技術の使用例や今後の課題などについて、客観的な事実と筆者の意見の区別の理解を基に、話や文章の展開	1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

		Lesson8	A Conductor of the Underground Railroad	12	に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉える。 奴隷制度下の人権問題や、ハリエット・タブマンの功績について、「時間順序」を表すディスコースマーカの理解を基に、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉える。	1 2 3
	3 学 期	Lesson9	English, Always Growing	1	英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて、「列挙」を表すディスコースマーカの理解を基に、話や文章の展開に注意しながら、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉える。	1 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○学習内容を理解し、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるか。 ○学習した文法事項を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けているか。		○必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用できているか。 ○情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができるか。		○必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しようとしているか。 ○情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしているか。
	手 段	・定期考査、小テスト ・提出課題		・定期考査、小テスト ・各課末のパフォーマンステスト		・授業中の取組状況 ・各課末のパフォーマンステスト
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			
学習上の留意点	・毎時間、積極的に学習に取り組むこと。 ・提出物はじっくりと取り組み、丁寧に仕上げて期日厳守で提出すること。 ・定期考査では、しっかりと復習をして臨むこと。					